

体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

浦河町防災キャンプ

浦河町教育委員会

【事業のポイント】

- 自ら判断して行動できる力を育てる
- 自然災害・気象等に関する知識を身に付ける。
- 集団の中で、自ら役目を持って、協調性を養う。
- 人と人とのつながりを学び、連携を考える。
- 災害時等に中心になるリーダーを育てる。



1. 企画

(1) 事業実施の背景

- ①東日本大震災により当町も大きな被害を受け、住民の防災意識が高まるとともに、子どもたちの各種体験活動と併せた防災プログラムが必要であった。
- ②超高齢化社会により地域の連帯感を高めるため、若者のリーダー育成が必要であった。

(2) わらい

「防災キャンプ」実施を通して、防災意識を高めるとともに、防災活動の中心となる青少年リーダーの育成も図り、地域の連携や個々の意識の連携を密にすることにより、地域における防災体制の確立を目指す。また、この事業を通して、地域の中の青少年の役割、地域を確認する機会などから、つながりを認識させ、併せて防災の技術と知識の習得を図る。

2. 事業概要

(1) 運営体制

浦河町防災キャンプ実行委員会

1. 実行委員長 岡内 猛 (浦河町教育委員会教育長)
2. 副実行委員長 奥村 尚久 (浦河町校長会)
3. 委員 横山 宏樹 (日高教育局教育支援課社会教育指導班主査)
4. 委員 宇佐美 隆之 (日高振興局地域政策部地域政策課主査(地域防災))
5. 委員 藤原 充 (日高教育局教育支援課主査(社会教育))
6. 委員 伊藤 勇二 (浦河青年会議所理事長)
7. 委員 小島 晶夫 (北海道浦河高等学校長)
8. 委員 武岡 哲良 (浦河日赤看護専門学校長)
9. 委員 木村 功司 (浦河消防署長)
10. 委員 後藤 四郎 (浦河町子ども会育成団体連絡協議会会長)
11. 委員 澤谷 英勝 (浦河町自治会協議会会長)
12. 委員 小原 崇 (浦河町総務課危機管理室主査)
13. 委員 砂子沢 登 (浦河町教育委員会社会教育課長)
14. 委員 吉田 正明 (浦河町教育委員会社会教育課課長補佐)
15. 委員 民部 宏治 (浦河町教育委員会社会教育課社会教育係長)

(2) 開催実績

月 日	内 容
5月下旬	事業日程の調整及び運営体制の検討
7月7日	第1回浦河町防災キャンプ実行委員会
7月19日	浦河町防災キャンプ推進事業 第1回防災・ボランティア青少年リーダー研修会
7月31日	第2回浦河町防災キャンプ実行委員会
8月1日	浦河町防災キャンプ推進事業 第2回防災・ボランティア青少年リーダー研修会
8月1日	浦河町防災キャンプ(1日目)
8月2日	浦河町防災キャンプ(2日目)
8月3日	浦河町防災キャンプ(3日目)

3. 防災キャンプ実施概要

1) 運営体制

主催：浦河町教育委員会

主管：浦河町防災キャンプ実行委員会

協力：北海道、北海道教育庁、北海道教育庁日高教育局、室蘭地方気象台、陸上自衛隊静内駐屯地第7師団、浦河海上保安署、浦河赤十字看護専門学校、北海道浦河高等学校、株式会社ムラカミ、浦河町、日高東部消防組合浦河消防署、浦河青年会議所、浦河町社会福祉協議会、浦河町自治会連絡協議会、浦河町子ども会育成団体連絡協議会

日時	会場	プログラム	プログラム詳細
8月1日(金)			
12:30~13:00	総合文化会館	受付(参加者受付)	
13:00~14:00	総合文化会館	開会式(主催者挨拶、スタッフ紹介など)	
14:00~14:30	総合文化会館	オリエンテーション(心得、班紹介など)	
14:30~15:20	総合文化会館	講義「浦河町の自然災害について」 講師 室蘭地方気象台職員 ・浦河町の気象や過去の歴史から津波を学ぶ	
15:20~16:00	フィールドワーク	講話「防潮堤」を学ぶ 講師 防災士 三島信男氏 ・津波の際の防潮堤内の扉を学ぶ ・各班それぞれテーマを持って町探索を行う	津波の仕組みを学ぶ
16:00~18:00	青少年ホーム	体験活動「身近なもので明かりを確保しよう」 講師 浦河青年会議所 ・油を使ったランタンづくりと簡単濾過機の作成	
18:00~19:00	体育センター	非常食体験 講師 太陽工業株式会社 依藤敦志氏 ・水も火もない状況で、温めて食べられる食品の体験	ランタン作り
19:00~20:00	体育センター	防災グッズの活用について 講師 太陽工業株式会社 依藤敦志氏	
20:00~20:45	体育センター	防災のために用意するもの 講師 防災士 澤谷英勝氏 ・実際、家庭で用意しているものを紹介 段ボールで寝床の準備	
20:45~21:30	体育センター	講師 株式会社大和パッケージ ・実際に仕切りを組み立て寝床の作成を行う	段ボール寝床作り
21:30~22:00	体育センター	振り返り 消灯・就寝	
8月2日(土)			
6:00~7:15	体育センター	起床・体操	
7:15~9:00	体育センター	体験活動 火起こし体験、朝食準備、片付け 講義 「防災図上訓練(DIG)」	
9:00~10:30	体育センター	講師 日高東部消防組合浦河消防署職員 ・図を使って避難時の訓練	
10:30~12:00	浦河港	体験活動 「海上の防災の役割」 講師 浦河海上保安署職員 ・海上保安の役割と海上船舶の体験航海	火起こし体験
12:00~13:30	体育センター	自衛隊の役割について、炊き出し体験(カレー) 講師 陸上自衛隊静内駐屯地第7師団	
13:30~15:30	体育センター	講話「気象等の知識、自然災害と避難」 講師 気象予報士 菅井貴子氏 ・気象のお話と自然災害についてのお話	
15:30~16:30	体育センター	体験活動「ケガへの救急対応」 講師 日高東部消防組合浦河消防署職員	炊き出し体験
16:30~19:00	体育センター	入浴体験 ・集団でのルールや入浴マナーについて学ぶ	
19:00~20:30	体育センター	夕食、後片付け ・おかずはお弁当で、ごはん、味噌汁は配給にし ルールを守ってご飯をもらうことを学ぶ	
20:30~21:00	体育センター	振り返り	
21:00~22:00	体育センター	就寝準備・就寝	
8月3日(日)			
6:00~7:15	体育センター	起床・体操	
7:15~8:30	体育センター	朝食 おにぎりを作ってみよう	
8:30~11:00	体育センター	グループワーク、振り返り、発表	各班発表
11:00~11:30	体育センター	閉会式 修了書授与など	
11:30		解散	

4. 普及啓発の実施概要

◇実施前

- ・「防災キャンプ」参加募集チラシの作成(学校での生徒児童へのチラシの配布)
- ・町広報誌を活用した普及啓発(「防災キャンプ」実施・参加募集記事の掲載)
- ・報道関係への記事掲載依頼(「防災キャンプ」実施・参加募集記事の掲載)
- ・WEB(町ホームページ)を活用した普及啓発(「防災キャンプ」実施・参加募集記事の掲載)

◇実施後

- ・防災キャンプ実施の様子の写真と参加者及びボランティア学生の成果物の展示(8/22～9/30)

5. 成果と課題

(1) 事業成果

- ・様々な防災及び避難所のプログラムにより、子どもたちの防災意識を高めることができた。
- ・災害時や避難所において、地域の子どもたちの役割を明確にし、地域における防災体制の基礎づくりを図ることができた。

・自ら進んで積極的に行動する力を培うことができた。

【防災及びボランティアリーダー研修会での成果】

①ボランティア意識の高揚 ②リーダーの育成と学社連携の構築 ③地域のパイプ役

【防災キャンプでの成果】

①防災意識の高揚と地域の連携 ②体験機会の充実 ③気付き・考え・自ら行動する力 ④リーダーの大活躍

【参加者119名(小学生27名、リーダー13名、22機関団体79名)】

(2) 事業運営上の課題・留意点

- ①事業テーマを「気づき・考え・自ら行動」とし、子どもたちが日常的に考えていることを引き出す取組。
- ②フィールドワーク等の実施による安全確保への取組。
- ③青少年リーダーの主体的取組と参加児童とのコミュニケーションをとる取組。

(3) その他

地震が多い浦河町として何をしなくてはいけないか？町民として何をしなくてはいけないか？ということを改めて学ぶことができた。体験活動を取り入れた結果、子供たちが真剣に取り組み学ぶ姿勢を見せ、実施した効果があった。また、この事業をサポートしてくれた高校生や看護学生が活躍する姿を見て、このような若者を育てていかななくてはならないと改めて思った。今後は、防災も含め、若者たちや子供たちが実践で取り組むことができる体験活動や学びの場を検討していきたいと思う。

浦河町の概要(平成26年4月1日現在)
人口 13,314人 世帯数 6,884世帯

学校数(平成26年4月1日現在)
小学校5校 中学校3校

児童生徒数(平成26年4月1日現在)
小学校 656名 中学校 377名

